

令和6年度 大田区立大森第一中学校 自己評価 報告書

○ 本校の概要

令和7年2月26日

◆教育目標 「共感・納得・理解できる指導」を基盤として、生徒・保護者や地域の信託に応える教育活動を推進し、公教育の使命を果たすため、以下の目標を掲げる。
・きまりを守り、責任を果たす人になろう ・自ら進んでよく学びよく働く人になろう ・心身ともに健康で情操豊かな人になろう ・互いに尊重しあい思いやりのある人になろう

◆生徒数 全校生徒208名(1年:59名、2年72名、3年77名) ◆教員数 16名

◆学級数 6学級(1年:2学級、2年:2学級、3年:2学級)

◆特色ある教育活動 全校道徳、カサゴ稚魚放流、池上自動車学校と連携した自転車安全教室、学習新聞づくり、ボランティア活動

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄								
								評価	人数	コメント						
生予個 き測別 る困目 力難標 をな1 育成来 未成し社 会を創 造的に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	○教員や生徒・保護者へのアンケートの回答 以下の設問への肯定的な回答の割合	4: 80%以上	①日常から理数系教科の授業充実を図り、校内展示会や区の展示会、ものづくりフォーラム等に向けた美術・技術・家庭科での作品作り等を通して、体験活動や論理的思考力の育成を図っている。数学については通年で週2回の放課後補習教室を実施した。また英語に関しては英検対策講座を開講し、英検準2級および3級の合格者数を増やすことができた。 ②総合的な学習の時間における地域と連携した校外学習(1学年浄水場・2学年職場体験)等を通して生徒自ら課題を設定し、解決方法を見出し、グループで協働していく活動を進めながら、生徒自身の力を育んでいけるよう努めている。 ③校内研修会や授業観察等の機会を活用し、タブレット端末の利活用の促進を図るとともに、生徒自身が端末を日常の授業で使う頻度を増やすことで、情報活用能力の向上につなげている。	A	6	先生方の日々の取り組みには頭が下がる思いです。こどもたちひとりひとりのことを考え、尽力していただきありがとうございます。しかしながら、成果指標の前提である生徒・保護者のアンケート回収率がやや低いことが気になりました。						
		②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	⑩学校は、「生きる力」を育むために進路指導として、1年「職業調べ」、2年「職場体験・上級学校調べ」、3年「面接指導」を行っている。これらの活動は生徒に役立っている。	3: 60%以上					B	3				
		③情報技術を適切に活用した授業の実施を通して、情報活用能力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	⑪生徒会活動や委員会活動は充実している。 ⑫学校行事は楽しく充実している。	2: 60%未満							C	0		
					1: 40%未	D									0	
お世個 お界目 たをつ 担な2 うがる 材国 を際 育都 成市 し ます	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	○教員や生徒・保護者へのアンケートの回答 以下の設問への肯定的な回答の割合	4: 80%以上	①英語科では令和5年度より3学年のTGG体験学習を行い、生きた英会話を体験する機会を設けている。引き続きALTの活用を図りながらオールイングリッシュの授業を推進し、生徒同士での英会話によるコミュニケーション能力の育成に取り組んでいく。また、学習効果測定の結果をもとに授業改善プランを各教科で作成し、小中一貫教育の会などで小学校の先生方と共有しながら日常の授業改善に生かしている。 ②地域に協力を求め、地域人材や施設と連携した学習(カサゴ稚魚放流体験・池上自動車学校と連携した交通安全教室・海苔づくり等)を推進し、生徒達が自分たちの育った大森地域への愛着と誇りをもつことができるよう努めている。また、道徳科の授業を通して人権教育資料を活用した授業を実施するとともに、日常の学級指導等の機会を通して他者の人権について考える機会を作る。 ③総合的な時間における環境学習や、地域と連携した「カサゴ稚魚放流体験」等を通して、生徒が海洋汚染等の環境問題について自分事ととらえ、その解決に向けて地球市民の一員として何ができるかを考えをもつことができるようにしている。	A	6							
		②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	⑤少人数習熟度別授業は、成果をあげている。(数学・英語) ⑧学校は地域の力(保護者以外)を生徒の教育活動に活かしている。	3: 60%以上					B	3				
		③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	⑨生徒は地域の一人として自覚をもち、地域の活動に貢献している。 ⑥学校は、リサイクルや節電・節水などのSDGs教育に積極的に取り組んでいる。	2: 60%未満							C	0		
					1: 40%未	D									0	
た一個 め人別 のひ目 基と標 礎り3 がな個 る性 力と能 育力 成をし 発揮す る	児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	○教員や生徒・保護者へのアンケートの回答 以下の設問への肯定的な回答の割合	4: 80%以上	①道徳地区公開講座の機会等を活用し、生命の大切さについて再認識させることができた。引き続き全校道徳や学校教育全体で道徳教育に取り組み、生徒たちの豊かな心を育てていく。 ②英語科・数学科については習熟度別の指導を実施するとともに、学習補助員がT2として入り学習支援を行うとともに、通年で週2回の放課後補習教室を実施した。また英語に関しては英検対策講座を開講し、英検準2級および3級の合格者数を増やすことができた。 ③小学校と連携して作成している「体力向上計画」にもどづき、体育科の授業開始時に通年で行っている補強運動の時間を活用し、生徒の基礎体力の向上を図っている。「早寝・早起き・朝ごはん月間」の資料配布や朝礼、学活での講話等を通して、生活リズムの改善を図らせるとともに、健康的な生活を送れるよう指導を継続していく。 ④引き続き、小中一貫教育の会などの機会を活用しながら小学校の先生方とともに課題を共有しつつ、中学校生活において学校生活におけるルールを守ることの重要性を理解させ、守ろうとする意識を高めさせる。	A	7	展示会が素晴らしかったです。						
		②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべての子どもに確かな学力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	③教員の授業は分かりやすい。 ④教員は、「分かりやすい授業」を行うために学習指導方法を工夫・改善している。	3: 60%以上					B	2				
		③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	⑤少人数習熟度別授業は、成果をあげている。(数学・英語) ⑩学校の、学級指導・生徒指導・道徳指導を通して、規範意識が向上していると思いますか。	2: 60%未満							C	0		
		④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3		1: 40%未									D	0

学 校 別 力 ・ 標 4 教 師 力 を 向 上 さ せ ま す	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。 ②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。 ③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。	3 4 3	○教員や生徒・保護者へのアンケートの回答 以下の設問への肯定的な回答の割合 ③教員の授業は分かりやすい。 ④教員は、「分かりやすい授業」を行うために学習指導方法を工夫・改善している。	4: 80%以上 3: 60%以上 2: 60%未満 1: 40%	4 4 4	①校内研修会を年間6回実施し、授業改善や個別最適化された学びの実現に向けて教員の知見を深め、授業改善につなげることができた。 ②授業改善セミナーや区教研等の研修を通して、教員各々が自己の指導力向上に向けて取り組んでいる。各学年において、総合的な学習の時間を活用し、地域や環境をテーマにした学習活動を実施することができた。 ③各校務分掌や会議の時間を精選しながら、教職員と生徒にとって不可欠なものに注力できるよう努めているが、まだ十分と言えない状況にあると考える。今後はさらにウェルビーイングを高める取組を推進していきたい。	A B C D	7 2 0 0	
た 自 個 め 分 別 の ら 目 学 し 標 び く 5 を い 支 援 い き と 生 き る	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えるとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。 ②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。 ③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。 ④生徒一人一人のニーズに応じた特別支援や不登校生徒の学習環境を整えるとともに、地域人材等を活用しながら適切な支援に努めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満の教員が回答した。 2:60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3 4 4	○教員や生徒・保護者へのアンケートの回答 以下の設問への肯定的な回答の割合 ⑩学校の、学級指導・生徒指導・道徳指導を通して、規範意識が向上していると思いますか。 ⑪学校は、いじめや暴力のない学校づくりに積極的に取り組んでいる。 ⑫教員は、生徒を理解して相談事や悩みについて親身に対応している。	4: 80%以上 3: 60%以上 2: 60%未満 1: 40%未満	4 4 4	①生徒がもつ様々なニーズに対応できるよう、校内研修や特別支援委員会を立ち上げるとともに、昨年度より巡回指導教員との連携を密にしていることで、教員の生徒理解が深まってきた。 ②いじめおよび生活指導上問題となる行動については、担任だけではなく学年や生活指導主任、管理職等が連携しながら対応し、未然防止と早期対応解決に努めていく。 ③学校生活調査の結果を分析するとともに、担任が面談を実施し、支援が必要な生徒をSCや外部の相談機関等につなぐことができた。引き続き生徒がもつ多様なニーズに回答できるよう努めていく。 ④不登校(不応)については、SCや校内別室登校、適応指導教室等の関係機関につなぐことができている。引き続き一人一人に対する適切な支援を行えるよう努めていく。地域人材を活用し、学校特別補助員として配置し授業補助に入ってもらい、適切な支援に努めている。	A B C D	8 1 0 0	
安 柔 個 心 軟 別 な で 目 教 創 標 育 造 6 環 境 な を 学 習 く 間 と 安 全 ・	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。 ②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3 3	○教員や生徒・保護者へのアンケートの回答 以下の設問への肯定的な回答の割合 ②学校は地域の力(保護者以外)を生徒の教育活動に活かしている。 ③生徒は地域の一人として自覚をもち、地域の活動に貢献している。	4: 80%以上 3: 60%以上 2: 60%未満 1: 40%	4 4	①ICT機器の定期的な点検・修繕等を行うとともに毎日の施設安全点検を実施し、危険箇所等の修繕を行い、施設の安全や教室等の学習環境の整備を推進している。 ②生活指導部と管理職が連携し、有事の際に身を守るための避難方法や訓練を実施し、その実施方法について検証しながら改善を図っている。	A B C D	7 2 0 0	
学 地 学 校 域 校 別 を コ ・ 目 つ ミ 家 標 ユ 庭 7 リ ニ ・ ま テ 地 域 の 核 連 携 と し て 協 働 に よ る	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体で子どもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。 ②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。 ③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3 3 3	○教員や生徒・保護者へのアンケートの回答 以下の設問への肯定的な回答の割合 ⑮学校は、生徒や保護者に学級や学校の様子を便りや保護者会・面談などで積極的に知らせている。 ⑯生徒は、学校からの各種の便りやお知らせなどの配布物を保護者に見せている。 ⑰学校は地域の力(保護者以外)を生徒の教育活動に活かしている。	4: 80%以上 3: 60%以上 2: 60%未満 1: 40%	4 4 4	①遊漁船組合と連携したカサゴ稚魚放流体験や、地域の商店などに協力を賜りながら実施している職場体験など、地域力を生かした教育活動を実施することができた。 ②登下校の見守りや安全指導については、青少年対策委員会に依頼し、事故が発生しやすい場所等を中心に安全の見守りを実施していただいている。地域教育連絡協議会では、毎回授業参観を実施して生徒たちの学習や生活の様子についてご寛いただき、学校が実践している教育活動について助言等をいただき、健全育成につなげるようにしている。 ③ホームページを活用して学校経営方針などの基本情報や学校だよりを掲載するとともに日々の教育活動の様子について学校日記形式で写真付きの記事を年間200回程発信したので、より広く周知を図っていきたい。	A B C D	5 4 0 0	今年度はあまり学校へ伺うことができませんでしたが、学校ホームページで普段の様子を拝見することができましたので、度々、学校ホームページを訪れました。保護者の方々も学校での様子がわかると安心し、学校や先生方への理解や信頼が深まると思います。今後も引き続き情報発信をお願いいたします。

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記